

令和6年度 第4回下関市上下水道事業経営審議会

議事要旨

日 時：令和7年3月24日（月）9：55～11：10

場 所：下関市上下水道局6階研修室

出席者：出席委員6名 ほか（別添資料参照）

<配布資料>

▽次第

▽出席者名簿

【資料1】下関市上下水道局中長期ビジョン（経営戦略）素案原稿

【資料2】中長期ビジョン素案原稿前回審議会からの主な変更箇所

【資料3】中長期ビジョン素案原稿事前質疑に対する回答一覧

【資料4】下関市上下水道局中長期ビジョン（経営戦略）の策定について（答申）（案）

1. 開会

2. 議事

（1）下関市上下水道局中長期ビジョン（経営戦略）案について

○事務局より配布資料を用いて説明

（2）下関市上下水道局中長期ビジョン（経営戦略）の策定について（答申）

（3）今後のスケジュールについて

～議事について質疑・意見～

○別紙のとおり

3. 閉会

(別紙)

議事 1 下関市上下水道局中長期ビジョン（経営戦略）案について

委員質疑・意見

ビジョン素案原稿前回審議会からの主な変更箇所について	
事務局	資料 2 中長期ビジョン素案原稿前回審議会からの主な変更箇所に基づく説明
委員	投資・財政計画について、大きな影響はないと見受けられる。 大きな変更でいうと、P74「水道事業の収益的収支の見通し」・「水道事業の事業資金残高の見通し」グラフについて、1 回目の料金改定後、2 回目の料金改定を行わなかった場合を赤破線で示すようにしたことと思われる。
委員	P74「水道事業の事業資金残高の見通し」グラフ中、0 の線が細くなっている。このグラフでは基準となる線であるため、「水道事業の収益的収支の見通し」のグラフに合わせて太くした方が見やすいのでは。
事務局	修正します。
中長期ビジョン素案原稿事前質疑に対する回答一覧について	
事務局	資料 3 中長期ビジョン素案原稿事前質疑に対する回答一覧に基づく説明
事務局	No. 2 の緊急点検について補足させていただく。 令和 7 年 3 月 1 8 日付けで、国土交通省から全国特別重点調査に関する追加の通知が出された。対象となるのは、古い管路かつ口径が 2 m 以上の管路。埼玉県八潮市のような優先実施すべき管路は下関市には存在しないが、布設後 30 年以上経過した口径 2 m 以上の管路が、雨水管として 100m 程度存在しているので、令和 7 年度中に点検調査を実施し、県へ報告するとともに、外部への公表も考えている。
質疑等なし	

議事 2 下関市上下水道局中長期ビジョン（経営戦略）の策定について（答申）

委員意見

委員	資料 4 下関市上下水道局中長期ビジョン（経営戦略）の策定について（答申）（案）説明 昨年の 6 月から今日まで計 4 回の審議会を開催し、上下水道事業における現状と課題や今後の見通し、また、それらに対応する今後の取組の方向性などについて、様々な資料や観点に基づき慎重な審議を重ね、加えて、今年 2 月定例会の建設消防委員会での質疑応答を事務局から聞き取りした上で、この答申を取りまとめた。 答申書の最後には、これまでの審議会が出された委員の皆様からのご意見の中で、今後行われる水道料金の在り方の検討に向けて重要となるのではないかと考える 2 点を付帯意見として記した。 この付帯意見について、事務局から補足説明をお願いします。
----	---

事務局	今年の２月に開催された建設消防委員会では、中長期ビジョンの進捗として、第３回経営審議会の審議内容を約４０分かけてしっかり説明を行った。その中での質疑応答の要旨について補足させていただく。 まず、水道料金の平均改定率である２５．５％について、インパクトが強いことから、市民に対し丁寧に説明して欲しいという意見をいただいた。 次に、段階的な値上げを行うと、次期改定時に想定以上の改定率となるおそれもあることから、低い改定率で定期的な実施について検討を行う旨説明をしたところである。 最後に、他都市では、水道事業に外資企業が参入している事例もあるとのことで、下関市においては公営で行っていただきたいという意見をいただいた。以上のことを足立会長へ説明し、付帯意見としてまとめていただいたところである。
委員	料金改定については、決して下関市に限ったことではなく、全国的に見ても、下関市と同じ状況で料金改定を実施しないという自治体はないと思うので、そういう点からも、料金改定の話を進めていくのが妥当ではないかと考える。
委員	付帯意見の２点目について。 決して値下げができるとは思わないが、あまりにも値上げありきの意味合いを強く感じる。「水道料金改定を実施する場合において、値上げについては、市民（お客さま）の生活に配慮し、段階的又は定期的な措置を検討すること。」というように、値上げ前提のニュアンスを少し緩めた表現にしてはどうか。 今後の料金改定に影響してくると思うので、審議会の付帯意見として残すのであれば、値上げがオールマイティーとするよりも、少し和らげた言い方を考える必要があるのではないかと思う。
事務局	審議会として意見をまとめていただければ、答申書の修正は可能である。
委員	藤野委員の意見を取り入れるということで副会長含め了承したいと思う。
事務局	最後に、水道料金に関しては、局として、今後定期的に値上げをしなければならぬという覚悟を持って事業運営を行っているので、ご理解いただきたい。

議事３ 今後のスケジュールについて

事務局	今後のスケジュールについてだが、来月４月以降に改めてパブリックコメントを実施し、これを経た後に、計画策定する予定としている。 令和７年度からは、今後の水道料金の在り方について、引き続きこの審議会において計３回にわたり審議いただく予定としているが、日程については、新年度に入り改めて委員の皆様と調整させていただきたい。
-----	--